









「総対話活動」の重要性の一端と言えます



自然体の言葉で綴ります

のでは?」との有難いお言葉も。 最近では、「もっと主張があっても良い 本当にあの相原さんなの?」と歓迎と疑 そして「いよいよ、始めましたね」「これ、 日々の行動をできる限りSNSにアップ いが交錯する立ち上がりとなりました。 してきました。きっかけは、広報メンバ この半年間、連合運動にまつわる私の ードルが上がりだしたことが気がかり 男女、年齢問わずつながりも確 徐々に

始めました ナチュラルの

ました。このコーナー コーナ ータイトルもそうしたこと トとなりました。 タイトルは、かな

背中を押され…

から「ぜひ挑戦を!」との強いプッシュ。

ぞお付き合いの程をお願いします。 が感じたことなどを、できる限り自然体 表れない連合運動の一コマやその際に私 ど特集記事への登場が続いたこともあり を思い浮かべたものです。今後ともどう の、そして素直な言葉で綴れればと思い るさまざまな「公式文書」には必ずしも (私の筆不精も相当程度手伝って)、この り前に決めていましたが、誌上座談会な タイミングでのスター さて、このコーナーは、連合が発信す

新米事務局長として半年余が経過し

ン (仮称)」をつくる背骨となる取り組み 成30周年の節目に打ち出す「連合ビジョ つも、完了までには約1年を要す長期ロ ただく皆さんのご協力と参画に感謝しつ ち8組織を担当しました。迎え入れてい 47地方連合会にお邪魔する計画です。 役産別以外の36構成組織、全国を支える 直接の会話の機会が乏しくなりがちな三 見会長代行、そして私の3チー の場です。本年2月から神津会長、逢 方連合会の仲間とのコミュニケーション 意見交換のテーマを定めた構成組織・地 たのが現在進行中の「総対話活動」。予め うぞよろしくお願いします。 5月末までに19組織が完了し、私もう ド。兎に角、 さてこの間、頻繁にSNSにアップし 『は「総対話活動」!

ムを編成

の N E X T 版 「働くことを軸とする安心社会」 です。全力で進めてまいります。

今回の総対話は、連合結

将来を見据えた「人口減少・超少子高齢 社会ビジョン検討委員会」、運動や組織 総対話活動で取り上げるテーマは3つ

称)」に盛り込まれます。ビジョンの位置 合大会で確認予定の「連合ビジョン(仮 それぞれのエッセンスが2019年の連 「支え合い・助け合い運動基盤の具現化」 特別委員会」、個人参加の視点に立った 財政のあるべき姿を探る「連合運動強化 のNEXT版とでも言いましょう づけは、「働くことを軸とする安心社会」

不連続なイノベーション・ 尊厳ある働き方

働組合の役割と実践が求められています な悲観や楽観を戒めつつ、不連続なイノ るわけにはいきません。その上で、極端 題は山ほど。分断社会を放置、拡大させ や教育政策のあり方など、解決すべき課 社会で育つ子どもたちの将来、社会政策 今やその輝きを失っています。そうした うおぼろげながらの「生涯見取り図」は の生活レベルを超えていけそうだ」とい 度成長期には現実感が伴った「自分は親 徐々に明らかにし始めました。一方、高 革命というもう一つの流れがその輪郭を 波は、私たちの仕事や職場、 なインパクトをもたらしています。そし かに実現していくか、新たな時代の労 ーションを見据え、尊厳ある働き方を 急速に進む人口減少と超少子高齢化の 今、 人工知能(AI)·第4次産業 社会に大き

限りある貴重な資源を より活かす

地方連合会、地協、関係団体、そして、 とって不可避の重要課題です。構成産別 支えることは間違いありません。 検し、「本音」の論議がその英知と行動を れています。運動を棚卸し、 連合に集う私たちの英知と行動が求めら な存在感を今後、一層発揮していけるか らの期待を集める運動体として、社会的 連合本部の「オール連合」が働く仲間か 総体としての運動の持続可能性を高めて な貴重な資源をいかに最適配置し、 時に、限りある、人的、時間的、財政的 なものを探すのはなかなか至難です。同 いけるかは、結成3周年を迎える連合に 多岐にわたる連合の運動領域に不必要 活動を総点 連合

「小さなまごころ」の示し方

化は、 ました。より気軽にWEB上の入口を通 割発揮でしょう。 笑顔の花が咲いています。連合700万 の総和が毎年各団体に届けられ、全国に を代表する活動の一つ。職場の善意、そ に支えられ確かな実績を積んできた連合 して一人ひとりの小さなまごころを形に 人組織としてのわかりやすい社会的な役 「連合・愛のカンパ」。多方面のご協力 「支え合いの多様な形」を可能とし 一方、近年のデジタル

今を感じていただけたらと思います。 実に増。連合の日常を切り出す情報発信 クションを積極的にお届け トは多彩で良いはず。まずは日々の し、連合の

象です。検討を始めます。する仕組みづくりも連合としての研究対

丁寧な合意形成」

りません。念のため。 さんの積極的な発言、的を射抜く意見が となっています。もちろん、参加者の皆 う共通認識が「丁寧な合意形成」の土台 終了。予め絞った3つの論議ポイントは セットの意見交換は毎回あっという間に あっという間の2時間という私の印象を はなく、まさに、私たち全員の課題とい 特定の産業や地域にだけ関係深い課題で みの重要性を強調したいと思います。一 同じ重みで「丁寧な合意形成」、すなわち、 どまらず実践が最終目的ですが、それと 全員参加で迎える結成30周年に向けた歩 層際立たせていることは言うまでもあ 以上、3つのテーマはどれも論議でと 総対話活動に与えられた2時間ワン

に向けて 次なる「社会全体の合意」

口減少・超少子高齢化、そして、デジタ 107歳まで生きる。近頃、こうした 社会づくりは、課題先進国日本の責務で 社会づくりは、課題先進国日本の責務で がリスクにならない は会づくりは、課題先進国日本の責務で は会づくりは、課題先進国日本の責務で

> 培ってきた高度技術を活かす新たな挑戦 意」に向けた第一歩と捉えたいと思いま 員会最終報告」は、続く「社会全体の合 口減少・超少子高齢社会ビジョン検討委 6月7日の連合中央委員会における「人 働組合の役割は決して小さくありません。 土台づくりを意味します。日々の職場一 全の確保は、長寿社会下における生涯の とです。また、働く場における健康と安 に備わる無限の能力により光を当てるこ ことができました。心強い限りです。働 ど、現状を跳ね返す職場の姿も垣間見る や人間に任されて然るべき仕事の追求な がありません。今回の総対話活動を通じ にあたり、労働組合が傍観者で良いはず るでしょう。一方、新たな時代を迎える せん。社会全体を覆う不安の中心と言え ていくのか、明確な答えは見出せていま ル化の波に日本全体としていかに対応し 人ひとりの息づかいを肌で感じ取れる労 く尊厳を守り高めること、それは、人間

未来を創る新たな出会いが連合をつなぐ、

会を頂きました。有難いことです。両会スターコース後期最終日の講義、そして、スターコース後期最終日の講義、そして、スターコース後期最終日の講義、そして、

動の姿となりました(選東大入試に挑戦 場とも話の基調は、新しい時代の労働運 来を創りたいと思います。 出会えた皆さんたちと「新しい労働運動 ました。私の頭の中はともかく、新たに る事柄について随分「頭の整理」が進み 今回の機会を通じ、日頃もやもやしてい う思います。また自分本位で恐縮ですが がその「空気」をつくったのでしょう。そ 場の皆さんの日頃のハーモニアスな関係 感させる会場の「空気」がありました。会 ます。聴衆が発言者を育てる。これを実 を巡らせる姿勢に敬意を表したいと思い なにより、両会場の皆さんの態度、思い した「東ロボくん」の話も共通)。そして 「新しい労働組合」の姿を考え語り共に未

100分の17の役割

日本の労働組合の組織率は約17%。連合の登録人員は700万人。敢えて「マイナーな存在」と再確認しつつ、それでもなお、誇りと矜持をもって行動したいと思います。なぜなら、働く人は労働組と思います。なぜなら、働く人は労働組というその時点ですでに仲間。であればこそ、集団的労使関係にある私たちにはその位置づけに相応しい行動が求められて然るべきです。健全な職場、公正な社で然るべきです。健全な職場、公正な社会に向け、共に前進しましょう!